

## 平成27年6月定例記者会見

日時 : 平成27年6月23日(火) 13:30~  
場所 : 本学事務局3階第1会議室  
内容 :

1. オープンキャンパスの開催について  
(齋藤秀俊 副学長)
2. 学部3年入試(学力)について  
(齋藤秀俊 副学長)
3. 公開講座の開催について  
(齋藤秀俊 副学長)
4. 技術開発センタープロジェクト成果報告会  
「知の実践」の開催について  
(齋藤秀俊 副学長)
5. 栗島クリーンアップ作戦に技大チームが参加  
(生物機能工学専攻2年 和田 捺暉)
6. その他
  - ・Kawa 理科コンテストの開催について

以 上

2015オープンキャンパスについて

高校生及び高専生等に対して進路選択の参考となるように、研究室公開、学生による各課程の紹介、学生  
宿舎見学等、多数のイベントを用意して、積極的に本学の情報を提供することを目的に2015オープンキ  
ャンパスを下記のとおり開催します。

記

1. 開催日時

平成27年8月8日（土）10時00分～15時30分

2. 場所

本学講義棟、公開研究室、図書館、テクノミュージアム、宿舎

3. 参加対象者

高等学校の生徒、高等専門学校 of 学生、短期大学の学生、専修学校の学生、中学校の生徒、上記学校  
の進路指導担当教員、保護者等、進学関係者等、その他

4. イベント内容

OB／OGによる就活体験談、学生による各課程の紹介、入試・生活・授業なんでも相談、学生によ  
る相談・質問コーナー、学生宿舎（男子・女子）の見学、図書館の見学、テクノミュージアムの見学、  
研究室の公開（68 研究室）

5. 臨時バス等運行

長岡駅、新潟駅、新発田駅、村上駅、上越妙高駅から無料バスを運行（往路・復路）。

平成27年6月23日

報道機関各位

長岡技術科学大学

平成28年度第3学年（学力）入学者選抜試験について

本学の入学者選抜試験の実施に際しましては、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、標記試験が、平成27年7月4日（土）、5日（日）の2日間にわたり、本学で実施されますのでお知らせいたします。

記

1. 試験日時

7月4日（土）	国語（日本語）	9：00～10：20（80分）
	英語	11：00～12：20（80分）
	数学・応用数学	13：30～15：00（90分）
	志望課程別科目	15：50～17：20（90分）
7月5日（日）	面接	9：00～

2. 募集人員、志願者数

	募集人員	志願者数
機械創造工学課程	38人	95人
電気電子情報工学課程	38人	177人
材料開発工学課程	15人	69人
建設工学課程	15人	42人
環境システム工学課程	20人	31人
生物機能工学課程	20人	55人
経営情報システム工学課程	10人	41人
計	156人	510人

（うち県外者397人）

<本件担当>

長岡技術科学大学 学務部 入試課 入学試験第1係  
TEL 0258-47-9271, 9273

平成27年度 長岡技術科学大学  
公開講座受講申込書

長岡技術科学大学 産学・地域連携係 行

F A X 0 2 5 8 - 4 7 - 9 0 4 0

E-mail sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

住 所 〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1

申込方法：本紙をFAX送信又は郵送されるか、所要事項をe-mailで送信してください。

※ 受講を希望する講座に○印をつけてください。 ※

希望	講 座 名	開 催 日	申込期限	
1	低炭素社会構築の長岡モデルを創ろう	7月25日(土)	7月17日(金)	
2	安全技術入門 ～生活の中の安全～	8月23日(日)	8月17日(月)	
3	見えざるモノを音で診る ～超音波エコーの活用あれこれ～	9月19日(土)	9月11日(金)	
4	水分析よもやま話 ～環境中の超微量イオンの世界～	10月3日(土)	9月25日(金)	
5	振動を感じる ～地震計からスマホまで～	10月10日(土)	10月2日(金)	
6	農業リモートセンシングよもやま話 ～衛星から地上観測までの遠隔計測技術～	12月12日(日)	12月4日(金)	
ふりがな		性 別	年 齢	職 業
氏 名		男・女	歳	
住 所	〒 (            -            )			
T E L		F A X		
E-mail				

※ご記入いただいた情報は、本講座申込処理及び本学主催行事の案内送付の目的のみに使用します。この受講申込書で収集した情報は、法令に基づく開示請求があった場合、本人の同意があった場合、その他特別な理由のある場合を除き、第三者に提供しません。

# 長岡技術科学大学

## 平成27年度 公開講座

### 1 低炭素社会構築の長岡モデルを創ろう

日時：7月25日(土) 13時30分～15時  
場所：さいわいプラザ 4階大ホール(旧長岡市役所)  
講師：情報・経営システム工学専攻 教授 李志東

### 2 安全技術入門 ～生活の中の安全～

日時：8月23日(日) 10時～11時  
場所：さいわいプラザ 3階講座室(旧長岡市役所)  
講師：システム安全専攻 准教授 芳司 俊郎

### 3 見えざるモノを音で診る ～超音波エコーの活用あれこれ～

日時：9月19日(土) 13時～14時30分  
場所：さいわいプラザ 4階大ホール(旧長岡市役所)  
講師：機械創造工学専攻 教授 井原 郁夫

### 4 水分析よもやま話 ～環境中の超微量イオンの世界～

日時：10月3日(土) 13時～14時30分  
場所：さいわいプラザ 4階大ホール(旧長岡市役所)  
講師：物質材料工学専攻 准教授 高橋 由紀子

### 5 振動を感じる ～地震計からスマホまで～

日時：10月10日(土) 13時～14時30分  
場所：さいわいプラザ 4階大ホール(旧長岡市役所)  
講師：電気電子情報工学専攻 教授 河合 晃

### 6 農業リモートセンシングよもやま話 ～衛生から地上観測までの遠隔計測技術～

日時：12月12日(土) 10時30分～12時  
場所：さいわいプラザ 4階大ホール(旧長岡市役所)  
講師：環境社会基盤工学専攻 教授 力丸 厚  
准教授 高橋 一義  
助手 坂田 健太



詳細は、次ページ(中面)をご覧ください。  
受講料：テキスト代金 各回200円

後援：長岡市、長岡商工会議所、長岡市教育委員会、長岡技術者協会、長岡技術科学大学協力会  
NPO法人長岡産業活性化協会NAZE、(公益財団法人)長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会

問合せ先：長岡技術科学大学 産学・地域連携課 産学・地域連携係  
TEL：0258-47-9278 E-mail：sangaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

## 1. 低炭素社会構築の長岡モデルを創ろう

日時：7月25日（土）13時30分～15時

場所：さいわいプラザ 4階大ホール（旧長岡市役所）

講師：教授 李志東

概要：

長岡には、9.9万世帯、28万人が住んでいます。その照明器具をLEDに替えれば、電気代は4割～9割節約できます。7.2万戸の一戸建て住宅の屋根や休耕田で太陽光発電、風の強い山間部や海辺で風力発電、130km<sup>2</sup>に作付けされる農産物と442km<sup>2</sup>の山林からの廃棄物を用いるバイオマス発電をやれば、安定した収入が得られ、域内電力の安定供給や産業振興にも寄与します。もちろん、これらは立派な温暖化防止対策でもあります。

本講座では、地球温暖化の現状、原因、危害を概観したうえで、目指すべき低炭素社会とは何か、実現するには、どのような制度や取組みが必要かについて概説します。加えて、長岡における低炭素社会構築のあり方について検討し、「長岡モデル」の創出を提唱します。

（定員40名）

## 2. 安全技術入門 ～生活の中の安全～

日時：8月23日（日）10時～11時

場所：さいわいプラザ 3階講座室（旧長岡市役所）

講師：准教授 芳司 俊郎

概要：

ものづくりは、顧客（ユーザ）を幸せにするためのものです。ですので、ユーザに取り返しのつかない怪我をさせないようにしなければなりません。本講座では、身の回りの製品が、ユーザに怪我をさせないためにどのような工夫をしているか事例紹介した上で、参加者の皆様と意見交換したいと思います。

（定員40名）

## 3. 見えざるモノを音で診る ～超音波エコーの活用あれこれ～


日時：9月19日（土）13時～14時30分

場所：さいわいプラザ 4階大ホール（旧長岡市役所）

講師：教授 井原 郁夫

概要：

病院で超音波エコー診断を受けた経験のある方は少なくないのではないのでしょうか。超音波は胎児観察や臓器診断のような医療応用だけでなく原発などの構造物の健全性評価から各種の物性計測まで幅広く活用されています。その特徴は、目では直接見ることができない内部の様子を「安全かつ簡単」に診ることができるということです。超音波エコー法は我々の健康だけでなく安全な社会を維持するためにも役立っています。本講座では、なぜ音波でモノが見えるのかをやさしく説明するとともに、超音波エコー法の応用や最新技術を紹介します。

（定員40名）

## 4. 水分析よもやま話 ～環境中の超微量イオンの世界

日時：10月3日（土）13時～14時30分

場所：さいわいプラザ 4階大ホール（旧長岡市役所）

講師：准教授 高橋 由紀子

概要：

海、川、水道水、井戸水、温泉、・・・私たちを取り巻く水、生活に欠かせない水には多くの元素がイオンの形で溶け込んでいます。ミネラルウォーターに大量に含まれている、ナトリウム、カリウム、カルシウムイオンなど以外にも、ほんのちょっと、“痕跡量”しか含まれない、けれど地球規模の気候変動に関わるものや人の健康を大きく左右するイオンたちがいます。鉄、水銀、カドミウム、鉛、ヒ素、フッ素・・・等の例を分析手法と共にご紹介致します。



（定員 40名）

## 5. 振動を感じる ～地震計からスマホまで～

日時：10月10日（土）13時～14時30分

場所：さいわいプラザ 4階大ホール（旧長岡市役所）

講師：教授 河合 晃

概要：

地震が起きた際の振動波形は地震計などで計測します。そして瞬時に震源地と深さや到達時間が分かります。また、振動や動きを検出するしくみは、車のエアバック、スマートフォン（スマホ）などの端末機器、ゲーム機などにも多く使われています。これらは、どのようなしくみで振動を測るのでしょうか。地震波などの低周波振動は、慣性力を利用します。これは、重りが振動に追従できない性質を利用しているため、機器が大型になります。また、小型の端末機器では、低周波の振動測定には適していません。本講座では、身近になった様々な振動測定システムや電子素子の原理と利用法について紹介します。



（定員 40名）

## 6. 農業リモートセンシングよもやま話 ～衛生から地上観測までの遠隔計測技術～

日時：12月12日（土）10時30分～12時

場所：さいわいプラザ 4階大ホール（旧長岡市役所）

講師：教授 力丸 厚 / 准教授 高橋 一義 / 助手 坂田 健太

概要：

「リモートセンシング」という言葉を聞き慣れない方が多いと思います。身近なところでいうと、気象衛星「ひまわり」が提供する衛星写真の利用がリモートセンシングにあたります。また、リモートセンシング技術はスパイ技術のひとつとして発展した歴史があります。

本講座では、農業分野におけるリモートセンシングの観測・活用事例について解説します。また、リモートセンシングが発展してきた歴史、人工衛星観測の最新動向、近年急速に普及している小型無人航空機についても解説します。



（定員 40名）

平成27年度 長岡技術科学大学技術開発センタープロジェクト成果報告会  
「知の実践」の開催について（ご案内）

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご案内いたします。

記

1. 日 時 平成27年7月10日（金） 13時30分から16時40分
2. 場 所 長岡技術科学大学 マルチメディアシステムセンター
3. 開催趣旨 技術開発センターの研究活動の一環として、プロジェクト参加企業から、本学との共同研究により得られた成果を広く社会に発表することにより、技術の実用化を促進させることを目的とします。
4. 日 程
  - 13:30 開催の挨拶（5分） 長岡技術科学大学 学長 新原 皓一
  - 13:35 技術開発センターの紹介（15分） 技術開発センター長 斎藤 秀俊
  - 13:50 「SiCパワー半導体を適用したパワエレ装置の製品開発状況」（30分）  
松本 康 氏 富士電機株式会社 技術開発本部 製品技術研究所  
パワエレ技術開発センター 電機制御技術開発部 部長
  - 14:20 「交流電源にインターフェースされるパワーエレクトロニクス機器の高性能化」（30分）  
大沼 喜也 氏 長岡パワーエレクトロニクス株式会社 代表取締役
  - 14:50 「金属材料表面処理による物性改善とそのメカニズム解明」（30分）  
相馬 憲一 氏 株式会社日立産機システム CTO 兼研究開発センター長
  - 15:20 休憩（15分）
  - 15:35 「ガラスウール強化複合材料の諸特性評価と高性能化」（30分）  
塚本 雅也 氏 マグ・イゾベル株式会社 開発部技術開発課 研究員 主任
  - 16:05 「高性能吸着材料とその生産装置の技術開発」（30分）  
津田 欣範 氏 株式会社ヒューズ・テクノネット 代表取締役
  - 16:35 閉会の挨拶（5分） 長岡技術科学大学 理事・副学長 東 信彦
  - 16:40 終了

【本件事務担当】

国立大学法人長岡技術科学大学 総務部産学・地域連携課 受託・共同研究係  
TEL 0258-47-9226 FAX 0258-47-9040  
E-mail jutaku@jcom.nagaokaut.ac.jp  
[http://www.nagaokaut.ac.jp/j/soshiki/gikai\\_center/top.html](http://www.nagaokaut.ac.jp/j/soshiki/gikai_center/top.html)



報道機関各位

## 粟島クリーンアップ作戦に技大チームが参加

長岡技術科学大学

生物機能工学専攻 2年

和田 捺暉

### 1. 概要

新潟県北部に位置する粟島には、毎年様々な漂流物が流れ着きます。そのため、島では年に一度大々的に「粟島クリーンアップ作戦」という海岸の清掃イベントを行っています。私たち技大チームは毎年この粟島クリーンアップ作戦（以下、ゴミ拾い）に参加し、今年も多くのゴミを拾ってきました。

### 2. なぜ技大チームが参加しているのか

山本麻希研究室は野生動物の研究を行っており、粟島でも野生動物について研究を行わせていただいています。長期間島に滞在し研究を行うため、島民の方々にはその間大変お世話になっています。お世話になった粟島並びに島民の方々への感謝の気持ちを込めて、毎年このイベントに参加させていただいています。

### 3. 粟島クリーンアップ作戦について

海岸をきれいにすることで“環境保護”を行い、また“島内外の人々の交流の場”を増やすことを目的としたこのイベントは今年で8回目の開催となりました。ゴミ拾いは毎年6月の中旬に行われ、島内外から300人を超える多くの人々が参加します。私たちも研究室関係者を含めた10人以上でゴミ拾いに参加させていただきました。作業時間はおよそ一時間ほどですが、みんなで和気あいあいと楽しくゴミを拾い、時にはとても大きなゴミを目の当たりにして驚いたりしていました。参加者全員で集めたゴミは大型トラックの荷台からあふれるほどとなり、その量を目にしてゴミ拾いの達成感を感じることができたようです。お昼には粟島産の食材で昼食を頂き、温泉や散策に釣りをしたりするなどして各自で帰るまでのひと時を利用し粟島を楽しみました。



写真1：ゴミ拾い中の様子



写真2：集められたゴミの搬送